

学校だより 「夢追人」

第9号
令和4年 10月 24日

＜学校教育目標＞

総合的な人間力を培い、地域の担い手となる生徒の育成
—地域貢献から地域参画への転換—

＜生徒と教師の共通目標＞

みんなで一緒に「夢」を追いかけてみないか？



校長室から (9)

コミュニティ・スクール春日南中学校の生徒が進む『道』

総合的な人間力を培い、地域の創り手となる南中生

—「我的世界」から「我々の世界」を生きる市民性の育成を通して—

- 夢追人として、どんな困難にも継続した努力で挑戦する南中生
- 他者との適切な関係を築き、個性を発揮し、自己実現を図りながらよりよい社会づくりに関わる南中生

春日南中で身につける資質能力

- 社会認識力:よりよい社会を目指して行動する力
- 地域参画力:地域課題の解決策を考え発信する力
- 人間関係調整能力:自分も他人も大切にする力
- コミュニケーション力:傾聴する力、説明する力

総合的な学習の時間の充実 —春日市の未来予想図を創ろう—

- 3年生 「春日市の未来を提言しよう」
- 2年生 「春日市の今を探ろう」
- 1年生 「春日市の今を知ろう」

自分たちが主役となる学校行事、生徒会活動

学習単元を見通した個別最適な学びと協働的な学び

主体的対話的で深い学び

各教科・道徳・学級活動

毎日の学校生活、部活動、生徒会活動、地域活動

自発的自治的な活動づくり

よりよい人間関係づくり

上の図は平成4年度後期から平成5年度にかけて歩んでいこうとする「コミュニティ・スクール春日南中学校の生徒が進む『道』」を示したマスタープランです。今後、先生達と共通理解を図りながら具現化に向けて進んでいこうと考えています。春日南中学校の生徒1人1人が未来を生き抜く基礎を培っていきたいと考えます。そのためにも日常の授業改善を推進し、教育課程全般の見直しを図ります。今後、実現に向けて多くの困難が待ち受けていると思いますが、生徒と一緒に乗り越えていきたいと思ひます！コミュニティ・スクールの強みや南中生徒のもつよさを最大限引き出しながら本物の学校づくりに挑んでいこうと考えます。保護者、地域の皆様のご理解とご協力をお願いします。

筑紫区・筑前地区中学校新人体育大会の上位大会進出部活動

10月21日現在

男子ソフトテニス	筑紫区大会5位 筑前地区大会出場	陸上	筑前地区大会 男子総合の部3位
男子バレーボール	筑紫区大会5位 筑前地区大会出場		男子1年100m2位 県大会出場 増本信太
女子バレーボール	筑紫区大会4位 筑前地区大会出場		男子共通走り高跳び3位
水泳	筑前地区大会 200m背泳ぎ6位 県大会出場 本田加穂		県大会出場 河田遼平
新体操	筑前地区大会 個人総合2位 県大会出場 白石真衣 種目別 2年の部リボン1位 白石真衣 2年の部フープ2位 白石真衣		男子共通4×100mリレー4位 県大会出場 南雄途・森春翔・河田遼平・増本信太
			森皆人・長谷川雅虎
			男子共通200m4位 県大会出場 南雄途
			男子共通砲丸投げ4位
			県大会出場 古屋永暉
			女子2年100m優勝 県大会出場 江藤朱里
			女子共通200m優勝
			県大会出場 江藤朱里

合唱コンクールが2年ぶりに開催されました

10月21日(金)にふれあい文化センターで合唱コンクールが開催されました。新型コロナウイルス感染症拡大のため、2年間中止となっておりました。そのため、生徒たちは誰も経験したことない行事に取り組むということで、1年生だけでなく、2・3年生にも戸惑いがあったようです。しかし、過去の合唱コンクールを映像で視聴したり、授業の中で練習方法などのアドバイスを受けたりすることで、練習も充実していきすばらしい合唱へと変化していきました。当日は、どの学級も持てる力を十分に発揮していました。



11月の主な学校行事

10月21日現在

11月 1日 3年生学力診断テスト	11月14日 天神山小中学校体験①
11月 3日 (文化の日) 出校日 PTA主催行事 給食なし (弁当持参)	11月17日 天神山小中学校体験②
11月 4日 振替休日	11月20日 出校日ランチ 給食なし (弁当持参) (1年地域連携防災訓練、2・3年防災教育)
11月 5日 なんちゅうカレッジ	11月21日 振替休日
11月 6日 定期考査前部活動中止 (~10日)	11月24日 天神山小中学校体験③ 3年生進路相談 (~12/2)
11月10日 後期中間考査	11月25日 1年生スケッチ大会
11月11日 後期中間考査 (3年生のみ)	11月29日 天神山小中学校体験④ 春日市共通テスト(1・2年)
11月13日 春日市クリーン作戦	11月30日 天神山小中学校体験⑤

〈編集後記〉合唱コンクールをとおして、集団で1つのものを作り上げる難しさを生徒たちは経験しました。その中で、対立することもあったかとは思いますが、現実の世の中では対立することが当たり前です。大切なことは、その対立やジレンマもひっくるめて丸ごと受け入れ、相手と対話して共通の目的で合意することではないでしょうか。そのようなスキルを学ぶ場が学校であり、学校行事ではないかと思えます。